



好奇心大学活動レポート

vol.2 2023/1/18 (水) 第2回開催報告

○Kitakyu U29について

北九州市では「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市の将来を担う「若者に選ばれるまち」となるための取り組みを令和元年度から推進しています。それに伴い、まちづくりに関わりたい若者たち（北九州市内の学校に通う学生や29歳以下の若者など）がつながり、新しいことに挑戦するプラットフォームとして、北九州市未来創造ネットワーク「Kitakyu U29（キタキューユニーク）」を2022年11月に創設しました。

○好奇心大学について

好奇心大学とは「Kitakyu U29」に参加している学生が北九州市の未来について考え、アイデアを企画提案する、全5回のプログラム型ワークショップです。12/21～3/22までの約3カ月で開催します。

- ・市制 60 周年を北九州市内外に発信
(以下：市制60をチーム名とする)
- ・映画の街・北九州を活用した若者視点のまちづくり
(以下：映画FCをチーム名とする) ※FC/フィルムコミッションの略称
- ・北九州市の魅力在市外に伝える方法の研究
(以下：広報PRをチーム名とする)

参加学生が3テーマに分かれて、3月に行われる最終発表会へ向けてアプローチしていきます。

○前回の振り返り

第1回は、個人の課題として「なぜ好奇心大学に参加したのか」「好奇心大学でどう成長したいか」を考え、チームの方針である【Mission】【Vision】【Value】を各チームで話し合いましたが、思いが強くなかなか決まらないチームもあり…。第2回までの宿題という形になりました。



○第2回開催概要

日時 : 2023/1/18(水) 19:00～21:00

開催場所 : COMPASS小倉
※小倉駅近くのコワーキングスペース
(北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル6階)

参加者 : Kitakyu U29の学生15名



いよいよ好奇心大学の2回目スタート。みんな真剣にコーディネーターの話聞いています。



今回好奇心大学に参加しているキタユニ学生でパジャリ。3月22日の最終発表会に向けてみんなで駆け抜けます！

○アイスブレイクと各チームのMission・Vision・Valueの発表

冒頭、アイスブレイクとしてチームごとに「メンバーが年末年始をどう過ごしたか」をテーマに心ほぐしを行いました。発表者は1分間という短い時間のなかで即興で発表し、聴衆者は発表に対して積極的にリアクションすることで、場を温めました。その後は各チームのMission・Vision・Valueを全体に向け発表・共有し、好奇心大学のゴールを改めて確認しました。

発表の方法もチームによってさまざまで、代表者を決めて1人が発表するチームもあれば、複数人で役割を分担して発表するチームもありました。第1回と比べてチームの親睦が深まり、各チームの個性がしっかりと現れてきたように感じます。好奇心大学のゴールをみんなで再確認できたところで、3月の最終発表会に向けてグループでの討議を行い、アイデアを出していきます。



全体で各チームの発表を共有。他のチームの発表を聞くことで自分のチームでは出なかった考え方も知ることができたようです。

○グループワーク～企画立案に向けたアイデア出し～



コーディネーターから企画の提案の仕方をレクチャーしてもらい、実際にアイデアを出していきます。「時間があっという間に過ぎた」という感想が多く寄せられました。

まずは「企画を提案するうえでの大切な要素」をコーディネーターから参加学生に向けて説明しました。コーディネーターの説明を踏まえて、今回のグループ討議では企画を練っていくなかで要素となるアイデア出しをチームごとに実行し、3月までの方針を固めていきました。

以下、チームごとの討論内容です。

市制60チーム

市制60チームは誰ひとり妥協せず、チームでしっかりと向き合い、最初のMission・Vision・Valueの決定までに時間をかけたチームです。Visionとして掲げた「まちと自分と若者を未来へつなぐ」を意識しながらアイデアを出していきました。チームとしてアイデアの深掘りはこれからですが、音楽を取り入れたいという意見や、まちと若者が同じ方向を向いていくためにSNSで発信する案等、そのほかにもチームならではの意見が多数出ました。また広報PRチームとの連携案も出ました。



映画FCチーム

映画FCチームはワークショップの前に大まかな方針として国際映画祭に焦点を当てていましたが、実際に市のFC担当者から専門知見を得て、まずは「北九州FCを自分たちの世代に広めていく」ことを方針としました。具体的なアイデアとして、SNSの活用、FCに携わる専門家へのインタビュー、映像制作を自分たちで行う、などの案が出ました。

次回の好奇心大学までにどこまで進めるのかをチームみんなで計画して、メンバーひとりひとりが自分の役割に責任を持って取り組んでいる姿勢が見受けられました。



広報PRチーム

北九州市の魅力を発信していく手段として、まずはデジタルとアナログに着目し討議を進めました。魅力発信を行うためのデジタルな媒体として、若者で流行りのSNSの活用(YouTubeやTikTok、Instagram等)、アナログな媒体として写真集やグッズ、地図作成などさまざまなアイデアが出ました。今後はSNS運用を行いながら、チームオリジナルのまちの魅力マップを作成することを検討し、チームで企画を詰めていく予定です。またターゲットとして同世代を設定し、「自分たちのような若者に対して北九州市の魅力伝えていきたい」という意見でまとまりました。



第2回まとめと次回のアクションに向けて

第1回ではキッフオフということもあり、チームの体制を整えることにフォーカスしていましたが、今回はチームごとのグループ討議がスタートし、学生自身も、いよいよ始動した実感が湧いているようでした。ワークショップ後のアンケートでは、「グループで討議することで新たな発見があった」「チームのメンバーの個性を活かして今後も活動していきたい」という意見が多く見られ、チームで協力している様子が伺えました。また、どのチームも同世代に対してのアプローチを検討していることが見て取れます。チームによって進捗状況は異なりますが、第3回(2/8)は第2回で討議した内容をブラッシュアップし、発表会へ向けて取り組んでいきます。